

# VRUTrace ユーティリティの使用方法

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[vrutrace ユーティリティについて](#)

[VRUTrace ユーティリティの使用方法](#)

[VRUTrace ユーティリティを開始して下さい](#)

[VRUTrace ユーティリティを使用する方法に関する例](#)

[例 1](#)

[例 2](#)

[関連情報](#)

## [はじめに](#)

このドキュメントでは、vrutrace ユーティリティの使用方法について説明します。vrutrace ユーティリティを使用すると、ペリフェラル ゲートウェイ ( PG ) が Cisco Intelligent Contact Management ( ICM ) Enterprise Edition 環境の音声応答装置 ( VRU ) に接続されている場合に、PG の周辺インターフェイス マネージャ ( PIM ) プロセスに関連する特定のログ ファイルを取得できます。

## [前提条件](#)

### [要件](#)

このドキュメントの読者は次のトピックについて理解する必要があります。

- Cisco ICM PG 設定
- VRU のナレッジ

### [使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco ICM バージョン 4.5.x および それ 以降
- Microsoft Windows NT バージョン 4.0 か Microsoft Windows 2000

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してくだ

さい。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## vrutrace ユーティリティについて

VRUTrace ユーティリティは VRU に接続されるとき PG の PIM プロセスに関する規定されたログ ファイルを取得することを可能にします。

## VRUTrace ユーティリティの使用方法

このセクションは VRUTrace ユーティリティを使用する方法を説明します。

### VRUTrace ユーティリティを開始して下さい

コンピュータが次のとおりであるように VRUTrace ユーティリティを実行するために、して下さい:

- ログが含まれている PG に DOS プロンプトか Telnet セッションを通過して接続されて必要とします。
- 先のバージョンのための `c:\icr\custname\pgxx\vrucap` サブディレクトリーのより 5.0、またはバージョン 5.0 および それ以降のための `c:\icm\custname\pgxx\vrucap` サブディレクトリー。  
注: ここでは、*custname* および *pgxx* は顧客仕様です。たとえば、顧客が XYZ であり、PG が PG1A なら、サブディレクトリーは `c:\icr\xyz\pg1a\vrucap` です。

VRUTrace ユーティリティ用のオプションはここにあります:

```
vrutrace [ProcessName] [/if InputFile] [/o] [/of OutputFile]
        [/bd BeginDate(mm/dd/yy)] [/bt BeginTime(hh:mm:ss)]
        [/ed EndDate(mm/dd/yy)] [/et EndTime(hh:mm:ss)] [/all] [/prev]
        [/last] [/binary] [/debug] [/sleep] [/htbt] [/vrustat] [/help]
        [/?]
```

## VRUTrace ユーティリティを使用する方法に関する例

### 例 1

バイナリーデータの 2000 年 4 月 30 日までの 2000 年 4 月 29 日からの情報のログ ファイルからの出力をどのように得ることができるかこの例に示されています。

```
c:\icr\xyz\pg1a\vrucap\vrutrace pim1 /bd 04/29/2000 /ed 04/30/2000 /binary
```

### 例 2

プロセスが現在の日付と時間に実行した前回からの情報のログ ファイルからの出力をどのように

得ることができるかこの例に示されています。

```
c:\icr\xyz\pola\vrucap\vrutrace pim1 /last
```

## **関連情報**

- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)